

令和7年度第6回狭山市上下水道事業審議会会議録

開催日時	令和8年2月6日（金） 午後2時00分から午後3時30分まで
開催場所	狭山市役所 7階 職員研修室
出席者	持田会長、野澤副会長、伊藤委員、近藤委員、橋委員、浅見委員、大野洋美委員、岡田委員、真道委員、関根委員、諸口委員
欠席者	吉松委員、大野裕明委員
事務局	吉村上下水道部長、内山上下水道部次長（下水道施設課長兼務） 経 営 課：小高課長、小坂主査、金子シニア主査、橋本主査、福田主事、手塚主事、宮岡主事、高橋主事補 水道施設課：小林課長、平田主幹、村田主幹 下水道施設課：市川主幹、石井主幹、村田主幹
傍聴者	1名
報道関係者	無し
議 事	（1）「第2次狭山市水道事業経営戦略計画」及び「第2次狭山市下水道事業経営戦略計画」の答申について、資料をもとに説明。（公開）
質 疑	なし
議 事	（2）「水道料金及び下水道使用料の改定」の答申について、資料をもとに説明。（公開）
質 疑	なし
議 事	（3）令和8年度公営企業会計予算案について（公開）
質 疑 委 員	【水道】 資本的収支について、収支不足額は何をもって補填されるのか。
事務局	資本的収入額が資本的支出額に対し不足する金額については、今年度分の消費税および地方消費税資本的収支調整額、また過年度分の損益勘定留保資金また減債積立金で補填するものである。この金額の内訳については、消費税で8,827万1,000円、損益勘定留保資金で12億6,245万5,000円、減債積立金で1億6,428万6,000円である。
委 員	【水道事業会計予算（案）の概要 P9水道料金等の推移】 給水人口の捉え方は住民基本台帳をもとにし、割り出し方を計算上しているのか。
事務局	人口については、住民基本台帳をもとに算出し、水道未接続の世帯の人数を差し引いた数値としている。

委員 令和7年度と令和8年度の予算が4億円増えているのは、料金が改定されることを見込んで4億円を足しているから、この金額になっているという解釈でよいのか。

事務局 そのとおりである。

委員 **【下水道】**
重点事業に水洗化率の向上を記載しているが、約99パーセント達しているのに、これ以上の向上を目標として掲げるのはどうなのか。
言葉が古いので表現を変えた方がよい。

事務局 生活排水処理基本計画の生活排水処理形態別人口をみると、令和2年度で公共下水道の水洗化率は、約99パーセントとなっており、合併処理浄化槽を含めた生活排水処理率は、約97パーセントとなっている。現状の水洗化率よりも大きく向上することは見込めないが、公共下水道が整備された地域において、3年以内に接続する方を対象に費用の補助を行うため目標として掲げた。今後は検討する。

委員 **【下水道事業会計予算（案）の参考資料 P1 予算実施計画説明書】**
予算実施計画説明書の令和8年度の損益について、下水道予算の前年度比較の純損失と相違があるのはなぜか。

事務局 予算実施計画説明書の1 下水道事業費用の2 営業外費用の2 消費税及び地方消費税が基本的に収支に係る消費税も含めた数字となっている。また、この説明書の収支が課税されるものも含まれているが、非課税ないし不課税のものも含まれているため、消費税分を除くと言っても純損失と合うものではない。

委員 **【下水道事業会計予算（案）の概要 P8 重点事業2②不明水の対策】**
不明水対策でのカメラ調査で古い住宅団地の汚水、雨水の観測だけでなく、汚水・雨水管の接続調査を実施してほしい。

委員 **【下水道事業会計予算（案）の概要 P9 下水道使用料等の推移】**
下水道使用料等の推移（決算・予算ベース）のグラフの中で、水洗化人口は、下水道独自で人口を把握しているのか。

事務局 令和2年度の国勢調査をもとに都市計画課で調査を実施し、狭山市の平均世帯数を求め、実際何件の家が下水道区域になっているか、把握している。

委員 水洗化地域が拡大しているところの人口について割り出しているのか。

- 事務局 例えば、市街化区域の面積を確認し、そこに住んでいる人数や世帯数から算出し、下水道区域の世帯数を求めている。市街化区域は、住民基本台帳の世帯数に1.32をかけて求められるが、市街化調整区域は全ての区域が下水道区域になっていないので、世帯が何件あるのか求め、それに1.34をかけた数値が、水洗化人口となる。
- 委員 全国的に上記のような求め方で水洗化人口を数値化しているのか。
- 事務局 全国的には、市街化区域をかけて求めているが、市街化調整区域は公共下水道に接続していない世帯があるので、一律にかけて求めるとばらつきが出てしまう。市街化調整区域は、国勢調査をもとに一世帯当たりの人口を算出して、何世帯が公共下水道に繋いでいるかをかけた数値を水洗化人口としている。
- 委員 水洗化の対象人口という捉え方で良いのか。水道と下水道の人口に相違があったが、どうなのか。
- 事務局 水道に繋いでいる人が全員公共下水道に繋いでいるわけではないので、あくまでも下水道処理で使える人が何人いるかを計算している。
- 委員 一般的な言い方で分かりやすい人口の捉え方を考えてほしい。
- 委員 有収率の全国レベルでの平均値、近隣市の状況はどうなのか。
- 事務局 全国レベルでの平均値は、令和4年度現在において、約61.5パーセント、近隣市において、所沢市は91.5パーセント、入間市は90.8パーセントとなっている。
- 委員 **【下水道事業会計予算(案)の概要 P9下水道使用料等の推移】**
重点事業の写真の説明がほしい。
- 事務局 水道については、管の更新工事の写真で、下水道については、雨水管の耐震事業の写真である。今後、写真の注釈を付けて分かりやすく表現していく。
- 委員 **【下水道事業会計予算(案)の概要 P5下水道事業の重点事業】**
下水道事業の重点事業における写真の雨水管は何メートル位か。
- 事務局 高さが約3メートル、幅が約2メートル50センチメートルである。
- 委員 井戸水を使っているが、公共下水道に繋げていない家を把握しているのか。

事務局 下水道施設工事店制度を採っており、指定工事店から井戸水を使っているという申請を頂いたり、下水道区域に入ったときに、水道を引いていない家を把握したりしている。

委員 【水道事業会計予算(案)の概要 P7重点事業2①②老朽施設更新事業の推進 施設耐震化の推進】
老朽施設更新事業の施設耐震化の推進において、塩化ビニール管の改良率は約74パーセントに上昇するとあるが、何パーセント前年度実施したのか。

事務局 約7パーセント実施した。

他に質疑はなく、会議は全て終了となる。